

令和7年度  
奈良県自治会等連携補助金  
募集要項

令和7年4月

本補助金は、「奈良県自治会等連携補助金交付要綱」に基づき実施するものであり、募集に関する内容は次のとおりとします。

## 1 目的

自治会、自治連合会、自治協議会といった地縁団体が、その他の地域団体と新たに連携して、住民主体で地域課題の解決に取り組む活動を支援することにより、地域コミュニティの活性化を目指します。

## 2 補助内容

### (1) 補助対象団体

次の要件を全て満たす団体が対象となります。

#### ① 県内の自治会（※1）、自治連合会（※2）

又は、市町村が例規等により定めた自治協議会（地域自治協議会、まちづくり協議会、市民自治協議会 等）  
（以下「自治会等」という。）

※1 町又は字の区域その他市町村内の一定の区域に住所を有する者の地縁に基づいて形成された団体をいう（自治会、町内会、町会、部落会、区会、区 等）。

※2 自治会相互の親睦、連絡、関係行政機関との協調を図ることを目的に市町村内の一部地域の単位、市町村単位又は市町村の単位を越えた単位の複数の自治会で構成される団体をいう（自治連合会、自治会連合会、町内会連合会、町会連合会、区長会連合会 等）。

② 宗教活動又は政治活動を主たる目的としていないこと。

③ 特定の公職者（候補者を含む。）または政党を推薦し、支持し、反対することを目的としていないこと。

④ 暴力団又は暴力団若しくは暴力団員の統制の下にある団体でないこと。

⑤ 自治会等の運営が次のように適正に行われていること。

ア 自治会等の運営に係る規約、定款等を定めていること。

イ 毎事業年度、規約、定款等の定めに基づき、予算を組んで事業を実施し、決算処理を行っていること。

ウ 規約、定款等に規定されている役員が現に就任していること。

エ 法令等に違反した活動を行っていないこと。

### (2) 補助対象事業

次の要件を全て満たす事業が対象となります。

① 自治会等が、地域課題の解決のため、他の地域活動主体（※3）  
（以下、「連携団体」という。）と新たに連携して実施する事業

(※4) であること。

※3 自治会等同士の連携（近隣の自治会との連携 等）は、対象となりません。

※4 「連携」とは「協賛」や「後援」といった間接的な関わりではなく、事業の企画や実施等に直接関わるものをいいます。

- ・ 新規事業、既存事業に関わらず、新たに他の地域活動主体と連携して実施する事業が対象となります（過年度の本補助金の選定事業で、最初の本補助金への申請日以前には連携していなかった地域活動主体と連携する場合も対象）。但し、既存事業（過年度の本補助金の選定事業で、最初の本補助金への申請日以前には実施していなかった事業を除く）の場合は、連携により事業の質的な拡充（内容の充実 等）、又は量的な拡充（参加者の大幅増 等）が図られる必要があります。
- ・ 連携の組み合わせの考え方については、別紙1のとおりです。

(連携団体の例示)

社会福祉協議会、民生・児童委員、自主防災組織、消防団、防災士会、老人クラブ、婦人会、こども会、PTA、学校・園、大学、塾、生涯学習施設、福祉や健康関連施設、NPO、商店・事業所 等

② 次に掲げる補助テーマのいずれかに沿った事業であること。

- ア 高齢者への対応
- イ 地域での子どもの育み
- ウ 災害への備え
- エ 情報通信技術（ICT）の活用と広報の強化
- オ 地域への愛着や帰属意識の向上
- カ その他、地域課題の解決に資すること

(対象事業の例示)

補助テーマ	対象事業の例※5
ア 高齢者への対応	・ 高齢者の居場所づくり、集いの場づくり（シニア食堂、認知症予防講座など） ・ 高齢者の生活支援のしくみづくり（通院・買い物支援、電球交換、ゴミ出し支援など） 等
イ 地域での子どもの育み	・ 子どもの居場所づくり（こども食堂、学習支援、遊び場づくりなど） ・ 子どもを地域で見守るしくみづくり（通学路の見守りなど） 等
ウ 災害への備え	・ 学校、事業所、福祉施設など地域の他団体と共同で実施する避難訓練 ・ 女性や障害者に配慮した避難所訓練、防災マップづくり 等
エ 情報通信技術（ICT）の活用と広報の強化	・ SNSを活用した連絡システムの立ち上げ ・ 情報通信技術活用による自治会等の活動PR強化 ・ 情報格差解消（高齢者向け情報端末利用講習会、利用支援など）

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報通信技術を活用した高齢者の見守り、災害への備え（LINEグループによる見守り、アプリ上での救援要請システム構築など） 等</li> </ul>
オ 地域への愛着や帰属意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の祭りや伝統行事の継承において担い手や参加者を増やす取組</li> <li>・地域資源マップづくり（集落点検、住民参加型調査） 等</li> </ul>
カ その他、地域課題の解決に資すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動の担い手の発掘・育成</li> <li>・空き家、空き地を地域資源として活用</li> <li>・オンデマンドタクシーの運行 等</li> </ul>

※5 例示した事業以外でも、補助テーマに合致する場合は対象となります。過年度選定事業の一覧及び概要は別紙2のとおり。

③ **連携団体は、県内に基盤を置き（※6）県内で活動を行っている法人又は団体等であること。**

※6 県内に拠点（事務所、営業所、出張所でも可）を置いていることをいいます。

④ 連携団体は、（1）の②から⑤をすべて満たすものであること。なお、（1）の⑤の「自治会等」は「連携団体」と読み替えるものとする。

⑤ 次のいずれかに該当する事業でないこと。

ア 特定の個人や団体、法人の利益を目的とする事業

イ 営利を目的とする事業※7

ウ 本補助金以外の国、地方公共団体、民間団体等からの補助金等を充当する事業（過去に本補助金の交付決定を受けた団体〔以下「過年度交付団体」という。〕が実施するものは除く。）

エ 交付決定前に終了する事業

オ 補助事業の実施によって得る収入（以下「補助事業収入」という。）が補助対象事業に係る経費を超過する事業

※7 参加者から、実費相当の参加費を徴収することは、営利目的には該当しません。

**（3）事業の実施期間**

- ・交付決定を受けた日から、令和8年3月31日までとなります。
- ・交付決定は、令和7年7月上旬頃を予定しています。

**（4）補助対象経費**

・**補助の対象となる経費は、以下に掲げるもののうち事業の実施期間中に要したもので、かつ支出を行ったものに限ります。**

・**物品の購入や委託にあたっては可能な限り複数業者の見積りやカタログ等を確認し、相場と比べて高額とならないように、ご注意ください。なお、1回の購入等当たり、10万円以上のものについては、実績報告時に複数業者の見積り又はカタログ等、価格の比較資料をご提出いた**

だきます。

- ・ 今年度の補助対象事業に使用しない物品等の購入（次年度以降の事業のみに使用する物品等含む）に係る経費は、補助対象となりませんので、ご留意ください。

(対象経費、対象外経費の例示)

費目	補助対象経費の例	補助対象外経費の例
交通費	講師旅費、団体構成員による補助事業実施に必要な調査等のための交通費	団体構成員の通常の交通費（構成団体の事務局職員の通勤費等）
印刷製本費	参加者募集チラシ、事業にかかわる資料や報告書の作成・印刷費	通常、発行している、会報等の作成・印刷費
消耗品費	事業に要する文具類や食材購入費、手指消毒用アルコール購入費、啓発物品、法被やユニフォーム、苗木、花苗、自身で施設整備する場合の木材やセメント等の購入費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガソリン代（レンタカーの場合は除く）、弁当、ビール等のアルコール飲料、金券（ギフト券、図書券等）、個人への贈答品、手土産、個人に帰属する物品の経費</li> <li>・ <b>次年度以降の事業のみに使用する物品の購入費</b></li> </ul>
通信費	事業に要する郵便代・送料	補助事業に用いない切手の購入費
保険料	事業実施に伴う保険料（イベント保険、ボランティア保険等）の経費	事業実施期間外を対象とする保険料
諸謝金	講師謝金、出演団体、外部専門家への謝礼	<b>団体構成員に支払う報酬・謝礼、賞金、賞品、金券（ギフト券、図書券等）の経費</b>
使用料※8	会場使用料、事業に要する機器類のレンタル・リース料、研修事業でのバス等借上料、施設入場料	構成団体の事務所賃料
備品購入費※9	補助事業実施に必要不可欠でリース金額（事業に必要な期間分）と比較し購入する方が安価である場合のみ（ <b>補助対象経費総額の2割まで補助金に算入可能</b> ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財産取得に係る経費（登記手数料等）、主な使用目的が補助対象事業でない物品の購入費</li> <li>・ <b>次年度以降の事業のみに使用する物品の購入費</b></li> </ul>

委託料※10	専門的知識や技術を要する業務を外部に委託する経費（舞台の照明・音響、やぐらの設営、システム・ソフトウェアの開発等）	構成団体や自治会の会員への委託料（当該業務を業とする場合は除く）
その他の経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振込手数料、クリーニング代</li> <li>・補助事業の実施にのみ必要なアルバイトの person 費</li> <li>・専ら補助事業のため必要な電気工事、装飾や照明等の工事経費（※11）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>構成団体の事務職員の person 費</b></li> <li>・ <b>会議、打ち合わせに伴う飲料代、アルコール類、食事代、弁当代、茶菓子代</b></li> </ul>

※8 レンタル・リース料は、補助対象経費総額の2割まで補助金に算入可能です。

※9 ・1品目当たり10万円以上の物品（食材、苗木、花苗、自身で整備する場合の木材やセメント等原材料費は除く）は、備品となります（例えば、1個5万円の物品を2個購入する費用は、備品購入費ではなく、消耗品費等に該当します）。

・備品の購入については、原則、リース金額（事業に必要な期間分）と比較した資料を実績報告時に、ご提出いただきます。

・ 備品の送料、並びに備品の購入に伴う設置費及び加工費等は、備品購入先業者が行う場合（別の業者が行う場合で、料金の請求等が、一括の場合も含む）は、備品購入費に含めてください。

※10 補助事業全体を他の者に委託する等、自治会等の主体的取組でないとみなされる場合は補助対象になりません。

※11 工事経費は、補助対象経費総額の5割まで補助金に算入可能です。

#### 【その他補助対象外経費の例】

- ・申請団体及び連携団体の構成員以外が支出した経費
- ・ 交付決定より前に着手している事業に要する経費（やむを得ない事由により交付決定を受けないで、事業に着手する場合は、奈良県自治会等連携補助金指令前着手届（第2号様式）を提出することで補助金交付申請日以後に着手する事業に要する経費も対象となる場合があります）
- ・ポイントで支出した経費
- ・その他補助対象経費として適当でないと判断される経費
- ・補助金の申請、請求及び事業実績報告等にかかる費用

#### （5）補助額・補助対象経費

##### ① 補助対象経費

補助対象事業を行うために必要となる経費となります。

##### ② 補助額

ア 過年度交付以外の団体 補助対象経費の10/10以内。ただ

し、補助事業収入を補助対象経費に充当する場合は、補助対象経費の10/10以内で算定された額から補助事業収入の額を差し引いた額とします。

- イ **過年度交付団体 補助対象経費の1/2以内。**ただし、補助事業収入を補助対象経費に充当する場合で、補助対象経費と補助対象経費の1/2以内で算定された額との差を補助事業収入が上回るときは、補助対象経費の1/2以内で算定された額から当該上回る額を差し引いた額とします。

③ 補助金の上限額

**1事業につき50万円を上限とします。**

### 3 補助申請

#### (1) 申請書類

- ・ 申請用紙は以下の県のホームページから入手してください。  
ホームページアドレス：<https://www.pref.nara.jp/65736.htm>
- ・ **申請は1団体につき、1件を上限とします。**複数申請された場合は、全ての申請について、審査の対象としません。
- ・ 提出された書類の返却、写しの交付はしませんので、必ず写しやデータを保管しておいてください。
- ・ 申請に当たっては、以下の書類を**各2部**提出してください。  
(作成にあたっては、記入例を参考にしてください。)
  - ① 奈良自治会等連携補助金交付申請書 (第1号様式)
  - ② 事業計画書 (第1-2号様式)
    - ※必要に応じ、事業内容を説明する冊子等の添付可。
  - ③ 事業収支予算書 (第1-3号様式)
  - ④ 事業実施体制 (第1-4号様式)
  - ⑤ 自治会等の規約・定款等の写し、役員名簿、予算書・決算書の写し (直近事業年度のもの)
  - ⑥ 連携団体等の規約・定款等の写し、役員名簿、予算書・決算書の写し (直近事業年度のもの)
    - ※新たに連携する団体分のみで可。国、地方公共団体、独立行政法人、地方独立行政法人、国立大学法人、公立大学法人、学校法人、社会福祉法人等の場合は不要。
  - ⑦ 事業に関する調書 (別記様式1)
  - ⑧ (過年度の本補助金の選定事業の場合のみ提出が必要) 事業実績を踏まえた検証及び見直しにかかる調書 (別記様式2)
  - ⑨ 補助金申請書類チェックシート (別記様式3)
  - ⑩ 奈良県自治会等連携補助金指令前着手届 (第2号様式)
    - ※交付決定 (令和7年7月上旬) より前に、補助事業に着手する必要がある場合のみ。
  - ⑪ 連絡先報告書 (別記様式4)
- ・ 同一事業への補助は3年間を上限とします。なお、毎年度、審査を行い、選定された場合のみ交付を決定します。

## (2) 申請受付期間

令和7年4月15日(火)から令和7年5月30日(金)17時まで  
(必着)

申請受付期間を過ぎてからの受付は一切いたしません。

## (3) 提出先

市町村自治会・地域コミュニティ担当課まで持参又は郵送で提出してください。申請書類をパソコン等で作成している場合は、PDF形式等のデータでも提出してください (提出先は別紙3)。

## (4) 各市町村から県への提出

各市町村からの県への提出件数は原則、制限を設けませんが、各市町村で選定を行う場合もあります。

## 4 審査

- ・申請のあった事業について、審査を行い、予算の範囲内で、選定事業を決定します。
- ・選定は、予算の範囲内で、10事業程度を想定しております。

### (1) 審査 ※12

県において、申請書類に基づき書面審査を行い選定事業を決定します。審査に当たり、県から申請団体・事業等について問い合わせを行うことがあります。

※12・提出書類に不足がある場合は審査の対象となりませんのでご注意ください。

- ・申請団体による、プレゼンテーションは予定しておりません。

### (2) 審査基準

審査基準は別紙4のとおりです。

(参考) 令和6年度は、12事業の申請があり、10事業を選定。  
令和5年度は、16事業の申請があり、10事業を選定。

## 5 補助金の交付決定、概算払い及び事業実績報告等

### (1) 補助金の交付決定

選定された事業については、県から交付決定通知書をお送りします。なお、選定に当たっては条件を付けることがあります。選定とならなかった事業についても、その旨をお知らせします。

### (2) 申請の取り下げ

交付決定を受けた後、補助金の交付の申請を取り下げようとするときは、交付の決定の通知を受けた日から10日以内にその旨を記載した書面を県まで提出してください。

### (3) 変更等の承認申請

・交付決定後、事業計画について変更(※13)しようとするときは、以下の書類を県まで提出してください。

- ① 奈良県自治会等連携補助金変更承認申請書(第3号様式)
- ② 変更後の事業計画書(第3-2号様式)
- ③ 変更後の事業収支予算書(第3-3号様式)
- ④ 変更後の事業内容がわかる書類(任意様式)

・事業を中止し、又は廃止しようとするときは、あらかじめ、奈良県自治会等連携補助金事業中止(廃止)承認申請書(第4号様式)を県まで提出してください。

※13 補助対象経費の20パーセント以下の増減(補助金の額の増額は不可)、事業収支予算書の費目ごとの金額の20パーセント以下の増減については、変更の手続きは不要です。

### (4) 補助金の概算払

**必要があると認められる場合は、請求に基づき、交付決定額の1/2以内の金額を事業完了以前に交付を受けることができます。**この場合、申請に当たっては以下の書類を1部県まで提出してください。

- ・奈良県自治会等連携補助金概算払請求書(第5号様式)

### (5) 指示及び検査

県より、補助事業に関し、必要な指示をし、又は書類、帳簿等の検査を行う場合があります。

### (6) 状況報告

補助事業が予定の期間内に完了しない場合又は補助事業の遂行が困難となった場合は、速やかに県まで報告してください。

### (7) 実績報告

補助事業が完了したときは、次の書類を、事業完了日から20日又は令和8年3月31日のいずれか早い日までに、県まで提出してください。

- ① 奈良県自治会等連携補助金実績報告書(第6号様式)
- ② 事業成果報告書(第6-2号様式)
- ③ 事業収支決算書(第6-3号様式)
- ④ 対象経費明細表(第6-4号様式)
- ⑤ 行事等の実施状況がわかる写真、案内チラシや、工事請負契約書及び委託契約書の写し等、実施内容がわかるもの。
- ⑥ 領収書の写し等支出の事実を証明できるもの。(商品名や業務内容等が明記されているもの。)
- ⑦ 複数の見積書又はカタログの写し等、価格の比較資料(1回の購入等当たり、10万円以上の物品の購入や委託等を行った場合。)
- ⑧ 備品購入費とリース金額(事業に必要な期間分)と比較した資

料（備品を購入した場合。）

**連携が実現しなかった場合は、事業を完了されても補助対象とはなりませんのでご注意ください。**

#### **（８）補助金額の確定及び交付**

実績報告書の内容が適当と認められる場合は、交付すべき補助金の額を確定し、申請団体に通知します。

通知を受けた、申請団体は、奈良県自治会等連携補助金交付請求書（第7号様式）を県まで提出してください。請求書を受理した後、補助金を交付します。

#### **（９）交付決定の取消等**

- ・補助金の交付を受けた者が次の各号のいずれかに該当するときは、補助金の交付の決定の全部又は一部を取り消す場合があります。
  - ① 交付決定に当たり付けた条件に違反したとき。
  - ② 承認を受けることなく事業計画を変更したとき。
  - ③ 補助事業に関する指示に従わなかったとき、又は検査を拒み、忌避し、若しく妨げたとき。
  - ④ 偽りその他不正の手段により補助金の交付を受けたとき。
- ・補助金の交付の決定の全部又は一部を取り消した場合には、当該取消しに係る部分に関し既に交付した補助金の返還をしていただきます。

#### **（10）事情変更による補助対象経費の取扱い**

- ・自然災害、病気の罹患等のやむを得ない理由により、事業を中止し、又は廃止した場合であって、中止又は廃止の決定をした時点で既に支出済みである等やむを得ない支出であると認められるときは、当該経費を補助対象とすることができる場合があります。
- ・前記の事由により事業を中止又は廃止の決定をしたときは、速やかに県に報告してください。

#### **（11）補助金の経理等**

補助金に係る経理についての収支の事実を明確にした証拠書類を整理し、かつ、これらの書類を補助事業が完了した日の属する会計年度の終了後5年間保存してください。

### **6 スケジュール※14**

事項	日程
申請受付期間	令和7年4月15日（火）～令和7年5月30日（金）17時まで
審査	6月
選定事業の決定・通知	7月上旬

事業の着手	上記決定以後（指令前着手届を提出することで補助金交付申請日以後の着手が可能となる場合あり）
事業の完了	令和8年3月31日まで
事業実施報告書の提出期限	事業完了日から20日以内又は令和8年3月31日のいずれか早い日
補助金交付	実績報告書の審査終了後、概ね1ヶ月後（概算払いを受けた場合は、概ね1ヶ月半後）

※14 スケジュールは、変更となる場合があります。

## 7 その他

### (1) 募集要項、申請書類等

県のホームページからダウンロードできます。

ホームページアドレス：<https://www.pref.nara.jp/65736.htm>  
ホームページへのリンク



### (2) 申請書類の記載方法

- ・所定の用紙に、簡潔明瞭に記載してください。
- ・書類は可能な限り、パソコンで作成し、その場合は、申請書類はPDF形式等のデータでも提出してください。手書きで作成いただいても結構です。
- ・用紙のサイズはA4で統一し、文字サイズは極端に小さくせず、様式の記載欄は必要に応じて枠を調整してください。
- ・なお、既存の冊子等を添付する場合は、そのままの大きさと結構です。

### (3) 申請にかかる費用負担

**補助金の申請、請求及び事業実績報告等にかかる費用は、補助対象経費に含めることはできませんのでご注意ください。**

### (4) 情報公開

- ・申請書類は、原則として情報公開の対象となります。
- ・申請された事業名、事業の内容、団体名及び代表者名は公表します。

### (5) 事例紹介へのご協力等について

優良事例を県内の自治会活動の参考としてご紹介するため、選定団体に対し、聴き取り、取材、原稿の確認等について依頼を行う場合があります。

### (6) 問い合わせ先※15

奈良県知事公室市町村振興課

奈良市登大路町30番地（奈良県庁本庁舎4階）

担当：古市

電話：0742-27-9984

電話での受付時間は、月曜から金曜日（祝日は除く）の、午前8時30分から午後5時15分まで（午後0時～午後1時は除く）となります。

メール：ctv2 @office.pref.nara.lg.jp

※15 個別事業の審査内容等に関するお問い合わせには、一切応じられませんので  
ご了承ください。

# 連携の考え方

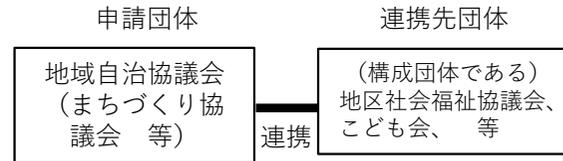
次のような組み合わせの連携は対象となります。

※新たに連携する場合に限ります。

## ①自治会等と地域活動主体との連携



## ②自治協議会とその構成団体との連携



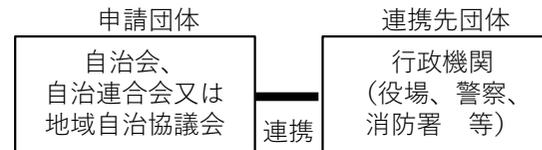
※申請事業において、これまでに当該構成団体と連携している場合は対象外。  
※自治会、自治連合会と構成団体との連携は対象外となります。(下記⑤の場合)

次のような組み合わせの連携は対象となりません。

## ③自治会等同士との連携（近隣自治会同士の連携 等）

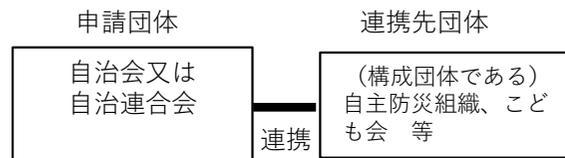


## ④自治会等と行政機関との連携

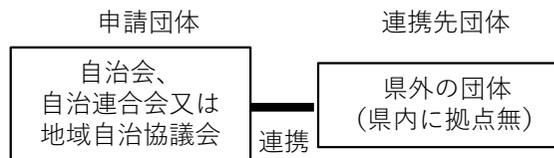


※大学・学校・園等の教育機関、研究機関、生涯学習施設、福祉施設及び健康関連施設との連携は対象となります。  
※行政機関と地域活動主体がメンバーとなっている実行委員会等との連携は対象となります。

## ⑤自治会又は自治連合会とその構成団体との連携



## ⑥自治会等と県外の団体との連携



※県内の団体とは、県内に拠点（事務所、営業所、出張所でも可）を置いている団体のことをいいます。

令和5年度 奈良県自治会等連携補助金選定事業一覧

別紙2

事業名	テーマ区分	団体名	団体所在 市町村	事業概要	総事業費 (当初申請時) (円)	交付決定額 (当初申請時) (円)
文化祭を中心として地域活性化をはかる事業	高齢者への対応 地域での子どもの育み 災害への備え 地域への帰属意識の向上	あやめ池地区 自治連合会	奈良市	地区自主防災防犯協議会、公設フリースクール、小学校、地区社会福祉協議会等と連携し、今まで実施してきた、公民館主催の文化祭を、不登校の子どもや障害者の方々も参加しやすい、地域が一体となった参加型イベントへスタイルを変え（文化祭、音楽会、夜店、防災防犯訓練等）実施することにより、地域の活性化や一体化の醸成に繋げる。	1,034,471	500,000
健康の維持・増進事業	高齢者への対応 デジタルの活用と広報の強化	藤ノ木台自治 会	奈良市	大学、地区民生児童委員協議会等と連携し、自治会にて実施している、いきいき百歳体操等の効果を数値で見える化することなどにより、活動の有用性を広く周知し、参加を促進するとともに、近隣の自治会等に横展開し、より多くの地域の高齢者の健康の維持・増進に繋げる。また、併せて、高齢者の居場所づくりやSNS等での情報収集力を高めていただくためのスマホ教室開催の取組を行う。	401,000	352,200
高齢化地域に於ける避難所有効活用支援事業	高齢者への対応 災害への備え デジタルの活用と広報の強化 地域への帰属意識の向上 その他、地域課題の解決	佐味四大字自 治会	御所市	地区自主防災会、地域の歴史文化の保存活動団体と連携し、指定避難場所の避難所スペースに、廃校となった地域の小学校の卒業写真をパネル展示、閉校時の記念ビデオの鑑賞会、25年間の卒業生の成長アルバムの展示をすることにより、避難所に足を運んでもらい、避難施設の体験者を増やし、「避難することの壁」を取り払うことを目指す。	638,000	500,000
地域で作る自分たちの公園 (災害避難場所) マップ事業	高齢者への対応 地域での子どもの育み 災害への備え 地域への帰属意識の向上	南良福寺自治 会	香芝市	小地域福祉活動を実施する地域団体、市社会福祉協議会と連携し、地域の1次避難所である公園に、子どもたちの描いた絵を用いた、公園の名称がわかる看板の設置、公園(避難場所)マップの作成、公園を巡るイベントの開催、地域の災害時要支援者の把握等を行うことで、多世代の交流機会の創出や防災意識の向上を図り、新たな地域コミュニティの形成に繋げる。	547,000	500,000
未来に残す[綱打ち]プロジェクト	地域での子どもの育み デジタルの活用と広報の強化 地域への帰属意識の向上	槻原自治会	平群町	町社会福祉協議会、町観光ボランティアの会、小学校、子ども会等と連携して、継承が難しくなっている、地域の伝統行事の参加者増を図ることで(情報発信の充実、より楽しみのある行事に等)、住民同士の交流の推進、地域への愛着の醸成等を通じ、地域の支え合いなど地域力を高めるといふ新しい意味合いを持って伝統行事を未来に継承する。	700,000	500,000
寺院を活用した高齢者や子どもの集いの場としての事業、 地域への帰属意識向上への事業	高齢者への対応 地域での子どもの育み 地域への帰属意識の向上	下子島自治会	高取町	町社会福祉協議会、町民生児童委員会と連携し、地域の寺院を開放し、地域住民がいつでも誰でも立ち寄れる集いの場を設置。また、児童には、学びの場、遊びの場、高齢者との交流の場となるようにする。さらに、定期的に映画やゲーム大会等の催しを開催することで、地域での交流機会の増加、保護者も含め地域間の交流の深化により、地域の帰属意識の向上を図る。	300,000	300,000

事業名	テーマ区分	団体名	団体所在市町村	事業概要	総事業費 (当初申請時) (円)	交付決定額 (当初申請時) (円)
世代間交流と食支援のコラボレーションによる人と人をつなぎ笑顔あふれる居場所づくり事業	高齢者への対応 地域での子どもの育み	高取町自治会	高取町	町社会福祉協議会、町老人クラブ連合会、町民生児童委員会と連携し、町全域を対象に、高齢者及び子ども向け食堂を開催し、併せて、イベント開催で世代間交流ができる居場所、高齢者の健康や経済状況の相談や一人ひとり心のケアができる場の提供により、住民間の協調やコミュニケーションの向上、高齢者のいきがづくりと意欲の向上を図る。	400,000	400,000
自治会と各地域自主防災組織の連携事業「黄色いハンカチを活用した安否確認の取組」	災害への備え	明日香村総代会	明日香村	村内各地域の自主防災組織と連携して、災害時に「我が家は大丈夫」「他の方を助けてほしい」という目印として、道路から見える場所に黄色いハンカチを掲げていただくことで、災害時の安否確認を短時間で容易に行うことができるようにする取組を全村で展開する。	702,000	500,000
秋の真美一ふれ愛まつり	高齢者への対応 地域での子どもの育み 地域への帰属意識の向上	真美一まちづくり協議会	広陵町	地域の高齢者施設と連携して、イベントを開催（ふれあいイベント、子ども向けまちづくり体験イベント、自転車安全講習会）することで、多様な世代の住民の交流、高齢者施設の入居者との交流や災害時の連携（避難協力施設）の推進、住民の地元帰属意識の向上、自転車事故の防止を図るとともに、まちづくり協議会の周知や協議会の参画団体の結束を図る。	530,000	500,000
シニア世代・リタイヤ世代等の「仲間と続ける農菜園」プロジェクト【～農菜園から広がる地域のつながり～】	高齢者への対応 地域への帰属意識の向上 その他地域課題の解決	下市町岩森垣内自治会	下市町	町社会福祉協議会、町賑わい創出協議会等と連携し、シニア世代・リタイヤ世代を対象に、耕作放棄地等を活用した共同農菜園で花や大和野菜等の栽培・収穫を行うことで、「生きがい・やりがいづくり」「居場所づくり」「健康づくり」に寄与するとともに、あらゆる世代・属性の交流、地域活性化、耕作放棄地の利活用等を図る。	500,000	500,000

令和6年度 奈良県自治会等連携補助金選定事業一覧

事業名	テーマ区分	団体名	団体所在市町村	事業概要	総事業費 (当初申請時) (円)	交付決定額 (当初申請時) (円)
文化祭を中心として地域活性化をはかる事業	高齢者への対応 地域でのこどもの育み 災害への備え 地域への愛着や帰属意識の向上	あやめ池地区自治連合会	奈良市	<p>◆目的 地域の活性化と一体感の醸成</p> <p>◆内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭の開催（作品展、学習発表会、健康相談所、演奏会等）</li> <li>・障害者、独居高齢者、子どもの文化祭参加の促進（不登校児の作品展、子ども向けイベントの開催等）</li> <li>・イベントの開催（キッチンカー、出店、子ども向けイベント、歌謡ショー等）</li> <li>・総合防災訓練の実施</li> <li>・クラシック音楽演奏会の開催</li> </ul> <p>◆連携先 公民館、自主防災防犯協議会、公設フリースクール、小学校、地区社会福祉協議会、地区民生児童委員協議会、地区婦人会、地区老人クラブ、中学校</p>	801,000	500,000
里山保全事業	高齢者への対応 地域でのこどもの育み 地域への愛着や帰属意識の向上 その他地域課題の解決に資すること	白毫寺町連合自治会	奈良市	<p>◆目的 地域の交流の推進、地縁関係の再生、高齢者の生きがいがづくり、子供たちの地域への帰属意識を高める</p> <p>◆内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耕作放棄地や休耕田に植樹（サツマイモ畑及び栗畑等に再生）を行うことで、里山景観の保全を図る</li> <li>・地域の子どもたちに、里山に親しみ、農業体験をしてもらう</li> <li>・地域の高齢者が、子どもたちや障害者と農業体験を通じ、交流を行う</li> </ul> <p>◆連携先 景観保全団体、老人会、障害福祉事業所</p>	1,100,000	500,000
高齢者の健康の維持・増進事業	高齢者への対応 情報通信技術（ICT）の活用と広報の強化	藤ノ木台自治会	奈良市	<p>◆目的 高齢者の健康維持・増進、情報共有の推進</p> <p>◆内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生き生き百歳体操、ストレッチ体操の参加者に体力測定を実施、データを蓄積し見える化することで、参加者の継続意欲を高める</li> <li>・高齢者向けスマホ教室の開催</li> <li>・自治会周辺に散歩コースの設定（コースの設定、環境整備、コースマップ作成）</li> </ul> <p>◆連携先 大学、地域包括支援センター、携帯電話会社、理学療法士協会、健康運動士会、電力会社</p>	618,000	500,000

事業名	テーマ区分	団体名	団体所在市町村	事業概要	総事業費 (当初申請時) (円)	交付決定額 (当初申請時) (円)
集会所を安全に利用していただく為の事業	高齢者への対応	外山区会	桜井市	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆目的 高齢者の安全確保を図る</li> <li>◆内容 集会所に至る坂道に、手すりを設置</li> <li>◆連携先 老人会</li> </ul>	102,509	43,601
生駒南第二小学校 果樹園プロジェクト	高齢者への対応 地域での子どもの育み、地域への愛着や帰属意識の向上 その他地域課題の解決に資すること	萩の台住宅地自治会	生駒市	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆目的 地域の活性化と子どもたちの育成を図る</li> <li>◆内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・校区住民が主体となって、児童や地域事業所が加わり果樹木を植栽し、栽培活動を行う</li> <li>・来年度は、収穫物を学校で行われるイベントで販売し、児童に販売体験してもらう</li> <li>・将来的には、家庭科の事業で加工品作りを行い2次産業化を児童に体験してもらう</li> <li>・将来的には、加工品を販売する体験を児童にしてもらう</li> </ul> </li> <li>◆連携先 小学校、学校ボランティアグループ、一般社団法人（子ども食堂運営）等</li> </ul>	504,350	500,000
自治会と小学校の連携を核にして地域に関連する他団体と共に実施する避難訓練・防災訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での子どもの育み</li> <li>・災害への備え</li> <li>・地域への愛着や帰属意識の向上</li> </ul>	鎌田自治会	香芝市	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆目的 「我々の町は我々で守る」意識の醸成、小学生を含む地域住民の防災意識・防災スキル及び連帯意識を高める、小学校での防災学習及び「地域と共にある学校」の体現</li> <li>◆内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・最終避難場所である小学校への避難経路確認・避難支援訓練</li> <li>・防災訓練・体験（煙ハウス、応急手当、車椅子訓練、簡易トイレ、担架づくり等）</li> <li>・炊き出し訓練の実施</li> <li>・小学生を対象に防災訓練（体験型）の実施</li> <li>・小学校と連携して防災訓練を計画・実施</li> <li>・防災グッズの展示、試供品を提供</li> <li>・地域の詳細な防災マップの作成</li> </ul> </li> <li>◆連携先 小学校、幼稚園・小学校PTA、消防団、ボーイスカウト、消防署、市役所</li> </ul>	639,650	500,000

事業名	テーマ区分	団体名	団体所在市町村	事業概要	総事業費 (当初申請時) (円)	交付決定額 (当初申請時) (円)
こどもとつなぐ 地域づくり事業	高齢者への対応 地域での子どもの 育み 災害への備え 情報通信技術（ICT）の活用と広報の強化	南良福寺 自治会	香芝市	<p>◆目的 更なる公園の利用や防災意識の啓発を図る、多世代の交流、地域での孤立化防止、居場所づくり、子どもを地域で育てる、情報共有の推進、情報格差の是正</p> <p>◆内容 ・災害時に「かまど」となるベンチをこどもを含む住民で制作 ・制作したかまどを利用して、餅つき大会を開催 ・こどもと地域をつなぐイベントの開催（「こども110番の家」等をめぐるハロウィーン祭り、餅つき大会、第一次避難所である地域の公園を巡る宝探しツアー） ・自治会公式LINEでの情報発信の充実、スマホ講習会の開催</p> <p>○連携先 地区民生委員・児童委員協議会、市社会福祉協議会</p>	530,000	500,000
未来に残す「綱掛け」プロジェクト	地域での子どもの育み 情報通信技術（ICT）の活用と広報の強化 地域への愛着や帰属意識の向上 その他地域課題の解決に資すること	槻原自治会	平群町	<p>◆目的 人と人の交流及び地域の良さを再発見する機会、地域の支え合いなど地域力を高めるといふ新しい意味合いをもって行事を継承</p> <p>◆内容 ・綱掛け行事の実施 ・行事について、町観光ホームページやSNS等で情報発信 ・地元小学校での出前講座で行事の説明 ・行事のルーツを調べ紙芝居を作成し、披露</p> <p>◆連携先 子ども会、老人会、観光ボランティアガイドの会、町社会福祉協議会、小学校、町、県立民俗博物館</p>	747,000	500,000
秋の真美一ふれ愛まつり	地域での子どもの育み 情報通信技術（ICT）の活用と広報の強化 地域への愛着や帰属意識の向上	真美一まちづくり協議会	広陵町	<p>◆目的 住民同士の交流を深める、住民の地元意識を高める、地域活動への住民の関心を高め参加を促す、伝統文化の継承、高齢者や子どもの交通事故防止、協議会の参加団体の結束を深める、地域活動でのデジタル活用の促進</p> <p>◆内容 ・イベントの開催（住民ふれあい祭り、子ども向けまちづくり体験、地域の文化体験、防災体験、自転車安全講習会） ・SNSを活用した協議会の活動周知や意見収集（大学生と連携）</p> <p>◆連携先 地域の文化団体、防災団体、ボーイスカウト、大学、高齢者施設等</p>	673,000	500,000

事業名	テーマ区分	団体名	団体所在 市町村	事業概要	総事業費 (当初申請時) (円)	交付決定額 (当初申請時) (円)
多世代や来訪者と交流できる農園づくり事業	高齢者への対応 地域での子どもの育み 地域への愛着や帰属意識の向上 その他地域課題の解決に資すること	下市町岩森垣内自治会	下市町	<p>◆目的 高齢者の生きがい・居場所・健康づくり、地域の子どもの学習支援、多世代交流、地域の活気づけ</p> <p>◆内容 ・小学校及び老人クラブを中心に野菜等を栽培 ・植え付け作業や収穫等において、多世代交流の場を創出 ・収穫した野菜を販売することで収益化を図る ・野菜の栽培方法についての学習の実施 ・町内外の人との交流</p> <p>◆連携先 町社会福祉協議会、産学官地域連携の協議会、町老人クラブ連合会、小中一貫義務教育学校等</p>	500,000	500,000

## 市町村・自治会コミュニティ担当課一覧

別紙3  
令和7年4月1日現在

市町村名	郵便番号	住所	担当課	電話番号	E-mail アドレス
奈良市	630-8580	奈良市二条大路南一丁目1番1号	地域づくり推進課	0742-34-1111	chiikidukurisuishin@city.nara.lg.jp
大和高田市	635-8511	大和高田市大字大中98番地4	まち振興課	0745-22-1101	machi@city.yamatotakada.nara.jp
大和郡山市	639-1198	大和郡山市北郡山町248-4	総務課	0743-53-1151	soumu@city.yamatokoriyama.lg.jp
天理市	632-8555	天理市川原城町605	市民総活躍推進課	0743-63-1001	katuyaku@city.tenri.lg.jp
橿原市	634-8586	橿原市八木町1-1-18	市民協働課	0744-22-4001	shiminkyodo@city.kashihara.lg.jp
桜井市	633-8585	桜井市大字粟殿432-1	市民協働課	0744-42-9111	kyodo@city.sakurai.lg.jp
五條市	637-8501	五條市岡口1丁目3番1号	地域政策課	0747-22-4001	siminkyoudou@city.gojo.lg.jp
御所市	639-2298	御所市1番地の3	地域協働安全課	0745-62-3001	anzen@city.gose.lg.jp
生駒市	630-0288	生駒市東新町8番38号	地域コミュニティ推進課	0743-74-1111	shiminkatsudo@city.ikoma.lg.jp
香芝市	639-0292	香芝市本町1397番地	市民協働課	0745-76-2001	kyoudou@city.kashiba.lg.jp
葛城市	639-2195	葛城市柿本166番地	企画政策課	0745-44-5016	kikaku@city.katsuragi.lg.jp
宇陀市	633-0292	宇陀市榛原下井足17番地の3	総務課	0745-82-8000	soumu@city.uda.lg.jp
山添村	630-2344	山辺郡山添村大字大西151番地	総務課	0743-85-0041	soumu@vill.yamazoe.lg.jp
平群町	636-8585	生駒郡平群町吉新1-1-1	まち未来推進課	0745-45-1002	machi-mirai@town.heguri.lg.jp
三郷町	636-8535	生駒郡三郷町勢野西1-1-1	総務課	0745-73-2101	soumu@town.sango.lg.jp
斑鳩町	636-0198	生駒郡斑鳩町法隆寺西3丁目7番12号	総務部総務課	0745-74-1001	soumu@town.ikaruga.lg.jp
安堵町	639-1095	生駒郡安堵町大字東安堵958番地	総合政策課	0743-57-1511	sougouseisaku@town.ando.lg.jp
川西町	636-0202	磯城郡川西町大字結崎28番地の1	総合政策課	0745-44-2213	seisaku@town.nara-kawanishi.lg.jp
三宅町	636-0213	磯城郡三宅町大字伴堂689番地	総務課	0745-44-2001	soumu@town.miyake.lg.jp
田原本町	636-0392	磯城郡田原本町 890-1	総務課	0744-32-2901	somusho@town.tawaramoto.lg.jp
曾爾村	633-1212	宇陀郡曾爾村今井495-1	総務課	0745-94-2101	soumu@vill.soni.lg.jp
御杖村	633-1302	宇陀郡御杖村大字菅野368	総務課	0745-95-2001	soumu@vill.mitsue.lg.jp
高取町	635-0154	高市郡高取町観覚寺990-1	総務課	0744-52-3334	soumu@town.takatori.lg.jp
明日香村	634-0142	高市郡明日香村大字橘21番地	総務財政課	0744-54-2001	soumu@vill.asuka.lg.jp
上牧町	639-0293	北葛城郡上牧町大字上牧3350	秘書人事課	0745-76-2501	hisyo@town.kanmaki.lg.jp
王寺町	636-8511	北葛城郡王寺町王寺2丁目1-23	政策推進課	0745-73-2001	seisaku@town.oji.lg.jp
広陵町	635-8515	北葛城郡広陵町大字南郷583番地1	協働のまちづくり推進課	0745-55-1001	kyodo@town.nara-koryo.lg.jp
河合町	636-8501	北葛城郡河合町池部1丁目1番1号	政策調整課	0745-57-0200	hisyo@town.kawai.lg.jp
吉野町	639-3192	吉野郡吉野町大字上市80番地の1	協働のまち推進課	0746-32-3081	kyoudou_s@town.yoshino.lg.jp
大淀町	638-8501	吉野郡大淀町大字椋垣本2090番地	総務課	0747-52-5501	soumu@town.oyodo.lg.jp
下市町	638-8510	吉野郡下市町大字下市1960	総務課	0747-52-0001	soumu@town.shimoichi.lg.jp
黒滝村	638-0292	吉野郡黒滝村大字寺戸77番地	総務課	0747-62-2031	kurotaki@vill.kurotaki.lg.jp
天川村	638-0392	吉野郡天川村大字沢谷60番地	総務課	0747-63-0321	soumu@vill.tenkawa.lg.jp
野迫川村	648-0392	吉野郡野迫川村大字北股84番地	総務課	0747-37-2101	soumuka1@vill.nosegawa.lg.jp
十津川村	637-1333	吉野郡十津川村大字小原225-1	総務課	0746-62-0001	soumu@vill.totsukawa.lg.jp
下北山村	639-3803	吉野郡下北山村大字寺垣内983	総務課	07468-6-0001	soumu@vill.shimokitayama.lg.jp
上北山村	639-3701	吉野郡上北山村大字河合330	総務企画課	07468-2-0001	somu@vill.kamikitayama.lg.jp
川上村	639-3594	吉野郡川上村大字迫1335番地の7	総務税務課	0746-52-0111	soumu@vill.nara-kawakami.lg.jp
東吉野村	633-2492	吉野郡東吉野村大字小川99番地	総務企画課	0746-42-0441	soumukikaku@vill.higashiyoshino.lg.jp

## 令和 7 年度 奈良県自治会等連携補助金 審査基準

評価項目		
手法の妥当性	住民主体で地域課題の解決に取り組むことで、地域コミュニティの活性化を目指すという、本補助金の目的達成のために効果的かつ効率的な内容となっているか。	
事業内容	多様な主体との連携	多様な地域活動主体と連携する内容となっているか。
	連携の効果	連携の効果が見込まれる内容となっているか。
	継続性・発展性	補助終了後も、継続や発展が見込まれる内容となっているか。
	先駆性	他の地域のモデルとなる内容となっているか。
実効性	団体の事業遂行能力は事業内容等を鑑み十分なものとなっているか。	
事業費の妥当性	事業費は適切に見積もられているか、また、費用対効果が見込まれるものとなっているか。	

※過去に本補助金の選定実績がある事業については、事業実績を踏まえた検証及び見直しの実施状況も踏まえて評価します。